

世界で活躍する精密機器生産装置メーカー 東京スカイツリー®の アート化に成功

大橋製作所

くろなび vol.3-7

大橋製作所(大田区大森南、大橋正義社長、03・3744・5351)は、携帯電話やタブレット型PCを製造する際に必要な設備機械装置の製造部門である「機器事業部」と、精密板金・金属加工・受託開発等を手掛ける「メタル事業部」の2部門を擁し、20カ国以上、250社以上の販売実績を誇る国際的メーカーである。

「機器事業部」では、同社の主力製品である「ACF(異方性導電膜)関連装置」が、スマートフォンやタブレット型PCの世界的な市場拡大によって需要が急速に拡大し、受注を順調に伸ばしている。また、

同部門では、携帯電話やカーナビ等の小型液晶パネルと、カーナビガラス、タッチパネルの間にUV硬化樹脂を封入することにより、画面の視認性の向上とパネルの強度強化が図れる、「光学樹脂張り合わせ装置」等のVRD事業にも力を注いでいる。同社では、常に先を見据えた技術革新を図っており、現在では、LEDチップの基板高密度実装を実現する「LEDフ

リップチップボンダー事業」への進出も果たしている。

また、「メタル事業部」での現在の注目事業は「数楽アート」。2変数関数を立体グラフィ化し、関数が示す軌跡に沿って、切断したステンレス鋼板を格子状に組み合わせで作られた「アートオブジェ」である。3月15日には、「メタルクリスタル東京スカイツリー」が新しい日本の未来の灯りくが発売された。「数楽アート」を駆使することによって、東京スカイツリーを1/1000スケールでアート化することに成功、



「メタルクリスタル東京スカイツリー」
(<http://www.sugakuart.com/skytree.html>)

全長634mmのツリーは、見る角度によって表情を変える。その美しさはまさに「光の芸術」が織りなす「幻想美」といえよう。(販売価格税込180,000円)



主力商品の「ACF関連装置」

■詳しくはホームページにて (<http://www.ohashi-engineering.co.jp/>)